

四国の特色を踏まえ、人々が安心して豊かに暮らすことができる 四国の将来の姿をどのように考えるか（2030年～2050年を見据えて）

【参考】 将来像（どのような四国を目指すのか）を考える上での視点の例

- ・ デジタルの活用による暮らしや働き方の変化
- ・ 巨大災害やカーボンニュートラルへの対応を見据えた新産業や産業立地
- ・ 人口減少下における適正な土地の利用や管理
- ・ 四国らしい自然や文化、地域毎の特徴
- ・ 住民や事業者の力を最大限発揮する官民の役割分担・連携
- ・ 全国や大都市圏との四国の関係、世界からみた四国